

札幌市議会議員
豊平区



小竹ともこ市政だより

やさしさと
情熱を市政に

小竹ともこ 主な経歴

- 札幌市豊平区月寒生まれ
- 札幌市立月寒小・中学校、札幌月寒高校、道武蔵女子短期大学卒業
- STVラジオ「ランラン号」キャスタードライバー旅行添乗員を経て結婚
(株)小竹金物店取締役(一女三男の母親)
- 札幌月寒高校PTA会長、北海道高等学校キャリア教育推進協議委員など歴任。

現在は、札幌月寒高校学校評議員、同校同窓会副幹事長、豊平区ママさんソフトボール連盟顧問など

- 平成23年 札幌市議会議員に初当選。
経済常任委員会副委員長
経済雇用対策・新幹線等調査特別委員理事
- 平成24年 厚生常任委員



さっぽろ自民党
広報副委員長として
街頭で市政報告



秋の交通安全街頭
啓発運動に参加

小竹ともこ市政だより平成25年号

発行所／小竹ともこ政務調査室

〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28

TEL (011) 851-1300

FAX (011) 851-1360

メールアドレス kotake-tomoko@parl.biz

活動報告はブログで



札幌市議会議員 小竹ともこ



勉強会に
意欲的に
出席。



「さっぽろ自民党」web動画で
市政の現状を解説



▲若者活動センターの皆さんと、
「つきさっぷ雪中運動会」にて

地域の思いを 市政に運ぶ

昨年の第3回定例市議会で、自民党・市民会議を代表して9月27日に代表質問を行いました。

市議になって2度目の代表質問は、当選してからこれまで、地域の皆さまから私に寄せられたご意見やご要望を質問の骨子にすえ、行政に対する切り込み方などに苦心しながら作業を進めました。

「町内会の加入促進」、「国民健康保険のカード化」、「商店街再生事業」、「除雪対策」、「月寒のまちづくり」等いずれも地域の課題、皆さまの身近な問題について、市長にその認識をただしました。

これからも豊平区の皆さまのご期待を裏切らぬように、一層の研鑽を積み、ご意見・ご要望を議会を通して市政に反映させるべく努力してまいります。

2月13日には、第1回定例市議会が開会します。

私が所属する自民党・市民会議では、「景気・雇用対策と公契約条例について」、「除排雪体制の維持・強化」、「いじめ・不登校に対する取組」、「少子化対策」家庭への支援、「地域施設における指定管理者制度について」など札幌市の認識、今後の取り組みについてただしてまいります。

変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます。

女性議員の会 なでしこ議連立ち上げ

政令指定都市20市の議会議員で自民党保守系の女性議員はわずか21人。札幌市議会の自民党の女性議員は5人と群を抜いています。

政策提言に向けた勉強会や研修会の開催を含め、積極的に活動していきます。



▲自由民主党政令指定都市なでしこ議員連盟

第3回 定例市議会

代表質問項目

- 町内会加入促進と担い手の育成について
- 性暴力被害者支援センターについて
- 国民健康保険のカード化について
- 商店街の振興策について
- 除雪対策について
- 特別支援教育の充実について
- 都心まちづくりにおける利便性向上策について
- 月寒中央駅周辺のまちづくりについて

活動報告はブログで



小竹ともこ 検索 Powered by Ameba



町内会加入促進と担い手の育成について

自民党市民会議では、以前から町内会の重要性和加入促進を図るべきと取り上げてきました。加入率の低下が続く現状を踏まえて、より一層の取組強化が必要。また、急速に進む少子高齢社会に向けて、町内会活動を支える人材を発掘・育成していくことが重要と指摘しました。



月寒中央駅周辺のまちづくり

昨年の第3回定例市議会代表質問で、今後の月寒中央駅周辺のまちづくりについて、市の意向を問いました。



生み育てたい環境を

孤立し、産後の育児不安や悩みを抱える母親が増加。児童虐待、少子化の原因ともなる産後うつ、産後クライシスに陥らないよう、更なる対策の必要性を指摘。専門的な知識を持って支える地域の助産院をはじめ、医療機関と連携し支援を充実することを強く要望。(厚生常任委員会、特別委員会)



▲委員会質問

商店街振興

昨年、会派内に「商店街振興議員連盟」が発足し、組合員でもある私が事務局長となりました。札幌市商店街振興組合との懇談会の実施や再生事業への支援など、振興にむけての活動にも幅が広がりました。



▲左から 長内市議(議員連盟会長)、菊池市商連理事長、土屋同副理事長、山田同副理事長、島口同事業委員長

性暴力被害者支援センター 北海道SACRACH(さくらこ)

早期実現を訴えてきた「性暴力被害者支援センター」が、昨年10月に開設されました。先駆的に事業運営している大阪、東京でも調査し、また、代表質問では、事業の恒常的な継続のため道との連携、予算の確保、専門性の高い人材育成など、強く求めました。

SACRACH さくらこ

Sexual 性
Assault 暴力
Crisis 危機
Relief 安心
Assist 支援
Center センター
Hokkaido 北海道



国民健康保険のカード化

平成26年度、政令市で最も遅い、国民健康保険のカード化が実施されることになりました。昨年の決算委員会において、利用者の立場にたったカードの使いやすさと偽造防止等の不正への対応、耐久性などを要請しました。

教育

特別支援教育 意欲的に勉強会にも参加、道議会議員や会派議員にも呼びかけ視察を実施。教育環境の改善を継続的に求めていきます。

次世代育成：就労体験 札幌月寒高校定時制で行われている就業体験プログラムに、昨年、地域サポーターとして、地域商店街とのつなぎ役になりました。



阿部生花店



美園湯

除雪

10年間で約200km延長している市の道路管理に、にもかかわらず、雪対策費用は横ばいで、サービレベルが維持できていません。

メリハリある除排雪の実施や、状況に応じた補正予算を組むなどの見解を示す市に対して、生活道路の除排雪には、地域特性の考慮が必要であること、また現行マニュアルの見直しをより一層進めるよう指摘しました。



カーリング場完成

昨年8月に、全国初の通年型のカーリング場が完成。札幌カーリング協会指導員を講師としての無料体験やカーリング教室(有料)は大盛況。国際大会の招致、日中の利用率アップなどの課題をこれからは議会で指摘していきます。

皆さまいかがですか。(問い合わせ、予約申し込みは011-222-4894 札幌市コールセンター)



▲地元からオリンピック選手の輩出を期待